

麗紅 (れいこう)

登録番号：第 13542 号

登録年月日：平成 17 年 12 月 7 日

登録者：(独)農業・食品産業技術総合研究機構

育成者：松本亮司 奥代直巳 山本雅史
吉岡照高 國賀 武 山田彬雄
三谷宣仁 生山 巖 村田広野
浅田謙介 池宮秀和 内原 茂

吉永勝一

来歴：(「清見」×「アンコール」)と「マーコット」の交雑実生

育成地：長崎県南島原市口之津町 (独)農業・食品産業技術総合研究機構果樹研究所カンキツ研究口之津拠点)

特 性

■栽培特性

樹勢は中庸で、樹姿は直立性と開張性の中間である。枝梢は長く、密生する。トゲは少し発生するが、樹が落ち着けばなくなってくる。葉は小さく、葉身は細長く披針形である。花は小さく、単生する。雄性不稔であり、単植で無核果となる。結実性は比較的良好だが、奇形果が発生し、玉揃いが不良となる場合がある。浮皮はほとんど発生しない。

完全着色期は 12 月上旬中旬である。成熟期は 1 月下旬で「はるみ」とほぼ同時期であり、「不知火」より 1 カ月程度早い。

■果実特性

果実の大きさは 200 g 程度、果形は扁平～扁円形で、有核果はやや腰高で扁円形になり、無核果は扁平になる傾向がある。果皮は淡赤橙色～濃橙色で、果面は平滑で光沢がある。

糖度は 12～13% で高く、酸含量は 0.8～1.3% である。果肉は濃橙色で、じょうのう膜は比較的薄く、肉質は柔軟多汁で食味は濃厚。す上がりの発生はない。剥皮は容易であり、オレンジ、マーコット香の混合したような芳香がある。

■病虫害抵抗性および栽培上の留意点

そうか病に対しては強く、抵抗性は温州ミカン以上である。かいよう病に対してはやや罹病性だが、慣行防除を行うことで栽培上問題になることはない。カンキツトリストザウィルス (CTV) によるステムピッチングの発生程度は高いが、ウィルスによる樹勢の低下の問題は指摘されていない。その他の病害についても慣行防除で問題は認められておらず、また特に問題となる虫害も認められていない。

栽培上の留意点として、「清見」と同様に種子形成力が強いいため、無核果ないし少核果生産には、周囲の園地に花粉を作る品種 (ハッサク、ナツミカン等) が植栽されていないことが必要になる。また、大玉になり過ぎると果皮が粗くなるため適正着果を維持する。奇形果の発生を少なくするために、予備枝剪定による良好な結果母枝の確保や適正な土壌管理による樹勢の維持、粗摘果時の奇形果の優先的な除去を行う必要がある。

■地域適応性

温度要求量も高くなく、全国のカンキツ産地において果実肥大は良好で食味も良いことから、気象条件的に地域適応性は広いと考えられる。ただし成熟期に落果が見られることがあり、この時期低温を受けないことが望ましい。

施設栽培では外観、食味とも良好な無核果が生産されており、施設栽培にも適すると思われる。

(今井 篤)